

## 地域生活支援事業所 ふう

### 【業務概要】

支援学校（支援級）等に通学するお子さんの放課後（長期休暇を含む）や各種障害福祉サービス事業所の休業日等の日中一時、外出・移動支援です。

平成 15 年当初は保護者のレスパイト（一時的な休息）、利用者さんの余暇活動の幅を広げる支援が目的でした。しかし最近では障害福祉サービス事業所が増え、他のサービス事業所が営業していない曜日、時間帯（早朝、夕方以降）の利用が多くなってきています。

### 【課題】

支援の形態は 1 対 1 を基本としています。これは利用者さんの特性に合わせて丁寧な対応が取れるという利点がありますが、その分、支援者の専門性と責任が求められます。

不安定な勤務実態の為、身分保障が難しくスタッフの安定確保が課題になっています。

また、土日曜日、早朝、夜間とスタッフの確保も課題になってきています。

### 【今後の展望】

時代の流れを読み取り、ニーズに合わせたサービスを提供できることがふうの強みであると考えます。このような他のサービス事業所とのすみわけが今後の活路となってくると思っています。実際に早朝、夜間、土日曜日の需要が増えてきています。

ただ預かるだけでなく、保護者の悩みや不安感に寄り添いながら話しをする時間を取る事を大切にしています。ふうの特性として年齢層が厚く（3 歳～60 歳）不安な保護者に対する先輩保護者の経験談やアドバイスの場を設けることもあります。また緊急の対応も出来る限りやりたいと思っています。困った時に「そうだ、とりあえずふうに聞いてみよう。」と思い出していただける事業所になる事が私たちの願いです。

（文責：大場敦子）